

## 自然のちからで 伝統芸能が新しくなる

脇田美術館の暗闇に、カラマツの舞台が出現します。能楽堂には必ずある松葉目板の代わりとなるカラマツのオブジェに光があたり、その陰影が軽井沢の歴史を静かに語ります。突如、笛の音が響き、人は音に浴され、同時に音に守られている心地よさを覚えます。風や光を表す「笛」と、火を連想する「大鼓（おおづみ）」。人はその闇の中で音という自然と一体になり、さらに高まりを感じます。自然の恵みから培われた日本の芸能が、空間の潜在的な力を引き出す——その瞬間を体感してもらうのが本公演の目的です。後援企業のBang & Olufsenのスピーカーの上質な音とスタイルで「能楽堂を出た能」の新しい音響設計、革新的な環境デザインを作り出します。

平成27年8月29日[土]

### スケジュール

開場 17:30 フード・ドリンク

開演 18:30 シャクジ能パフォーマンス

交流会 19:30 出演者と交流、フード・ドリンク

閉会 20:30

### 場所・脇田美術館

長野県北佐久郡軽井沢町旧道1570-4

参加費・大人 5500円、学生 2000円

### 出演者・

藤田 六郎兵衛

能楽笛方藤田流十一世宗家・

重要無形文化財（能楽）総合指定保持者

大倉 慶乃助

能楽大倉流大鼓方

林 大和

幸流小鼓方

林 雄一郎

幸流流太鼓方

辻 雄貴

華道家・建築造形家

花田 景子

貴乃花部屋女将

主催・シャクジ能実行委員会

協賛・軽井沢新聞社・株式会社 Concierge DaG・株式会社 REM

後援・BANG&OLUFSEN・一般社団法人軽井沢青年会議所・

FM軽井沢

シャクジ能とは、「シャクジ」とは、芸能・ものづくりの神とされる自然の精霊のこと。「宿神」とも表記されます。古来より日本の芸能者は、シャクジを芸能の守護神として祀ってきました。現代日本における伝統芸能などと、少し敷居の高いイメージがありますが、本来芸能とは自然から生まれた身近なもの、誰もが楽しむ事のできるものであるはず。そういった考え方から、新しい伝統芸能の形として生み出されたものが、華道家による循環型舞台美術と能楽師によるパフォーマンスの融合「シャクジ能」です。

軽井沢シャクジ能は、いけばなと能楽の世界が融合する新しい試み。脇田美術館の上質な空間で、闇と音が持つ圧倒的な力を感じる、得がたい一夜となります。ナビゲーターは日本文化を愛する花田景子さん（貴乃花部屋女将）。公演後は演者との交流会もあります。会費の一部は、軽井沢の自然保護のためにNPO法人ピッキオに寄付するチャリティーイベントになります。

軽井沢シャクジ能実行委員会メンバー

実行委員長・辻 雄貴 華道家・建築造形家

副実行委員長・江口 学 株式会社 REM 代表

監修・大倉 源次郎 能楽大倉流小鼓方宗家

総務・大倉 慶乃助 能楽大倉流大鼓方

事務局長・中川 洋子 株式会社 Concierge DaG 代表

顧問・石塚 晶子 編集者・プランナー

広報・広川 美愛 軽井沢新聞社



## 軽井沢シャクジ能

カラマツと囃子がつくりだす芳醇な闇

# 軽井沢シャクジ能

平成27年8月29日[土]

・17:30 開場 ・18:30 開演

## 出演者



林 大和

幸流小鼓方  
能楽師。十三世 林吉兵衛に師事。  
京都を中心に活動。



大倉 慶乃助

能楽大倉流大鼓方  
能楽師。1983年東京出身。能楽大倉流  
大鼓方。十五世大倉流小鼓方宗家大倉  
長十郎の孫、大鼓方大倉正之助長男。  
故大倉流大鼓方山本孝に師事。



林 雄一郎

観世流太鼓方  
能楽師。1981年生まれ。観世流太鼓方。  
観世流太鼓方観世元伯に師事。



辻 雄貴

華道家・建築造形家  
辻雄貴空間研究所代表。いけばなの枠  
組みを超えて建築、舞台美術、彫刻、プロ  
ダクトデザインなどを中心に独自の空間芸  
術を追求する。

## 特別出演



藤田 六郎兵衛

能楽笛方藤田流十一世宗家  
重要無形文化財(能楽)総合指定保持者

藤田流十一世宗家。1953年十世宗家の孫として名古屋市に  
生まれ、藤田家芸嗣子となる。年間約百回の舞台に出演し、能  
の最高曲とされる三老女もの「姨捨」「檜垣」「関寺小町」は數  
度の演奏を重ねる。また国立能楽堂他制作の新作能や復曲能  
に出演、笛作曲も多く、海外公演や能楽の企画・演出も数多く手  
がける。現在、社団法人日本能楽会理事、国際文化交流・協力  
推進委員(文化庁)、名古屋音楽大学客員教授。



## 司会



花田 景子

貴乃花部屋女将

宮崎市生まれ。

平成7年、第65代横綱貴乃花、現貴乃花親方と結婚。貴乃花部  
屋女将として、3児の母として、またメディア出演や講演活動、商品  
プロデュースなど、多方面で活躍中。

2015年2月対談本「日本人の心 おもてなし」(世界文化社刊)を出版。

### 推薦人の言葉 軽井沢シャクジ能 開催にあたって

森を手入れしながら、間引いた落葉松で作りあげる能舞台。  
自然と結びついた伝統芸能は、夏の軽井沢の新定番になる  
予感がします。

[主催] 軽井沢シャクジ能実行委員会

[協賛] 軽井沢新聞社、株式会社 Concierge DaG、株式会社 REM

[後援] BANG & OLUFSEN、一般社団法人軽井沢青年会議所、FM軽井沢

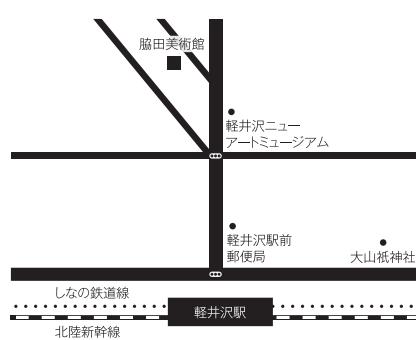
チケット申し込み  
お問い合わせ

軽井沢シャクジ能実行委員会

080-6720-0905 [担当・中川]

mail.conciergedag@gmail.com

脇田美術館 〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町旧道1570-4 TEL.0267-42-2639



脇田美術館  
WAKITA MUSEUM OF ART